

第16回 DAAS運営委員会

□日 時： 2011年1月28日（金） 午後2時～3時30分

□場 所： 都道府県会館 4階 409会議室

□議 案：

[承認事項]

○ 第5期(2010-2011年度)活動計画詳細の件

議案1 第5期修正予算書

<資料 1>

議案2 第5期事業計画 業務方針

<資料 2>

[報告事項]

○ 表彰事業 作業進捗報告の件

<資料 3>

○ デジタル卒業設計大賞募集期間の延長等についての件

<資料 4>

配付資料

<資料 1> 第5期(2010-2011年度)修正予算案 第6期(2011-2012)予算案について

<資料 1>-1 第5期(2010-2011年度)修正予算書

<資料 2> 第5期(2010-2011年度)事業計画 業務方針

<資料 3> 表彰作品資料収蔵事業 作業進捗について

<資料 4> デジタル卒業設計大賞募集期間延長並びに選考延期について

別紙

<参考資料 1> 第5期(2010-2011年度)事業計画

<参考資料 2> DAAS デジタル卒業設計大賞2010募集要項

<資料 1 >

2011年1月28日

DAAS 事務局

第5期(2010-2011年度)修正予算案、第6期(2011-2012)予算案について

一般社団法人担い手支援機構より受託している「記録作成業務(表彰作品資料収蔵業務)」については700万での契約を予定していましたが、英語サイト作成とWeb管理機能強化の為にWeb改修費用150万を追加し、850万の契約に変更致します。これにより第5期予算を修正し「記録作成受託収入」並びに「記録作成事業支出」を850万と致します。(資料1)-1(注1)(注2))

この増額で新システムに対応する英語化作業と表彰作品収蔵事業で資料提供者より寄せられた意見を反映した機能改修が2011年3月までに行われる予定です。

「Webサイト改修委託費支出」予算の150万は現状のままとし、事務局での作業の簡便化、管理のし易さを目的とした機能拡張も継続して行います。

「記録作成事業支出」の執行内容は、Web改修費支出150万、デジタルデータ作成費調整分200万、事務費並びに人件費支出500万を予定しています。

第5期初めより一時的に事務所拡張を行い、表彰作品資料収受の為に事務業務とデータ処理業務を行っています。派遣社員1名、臨時雇用3名、常駐職員1名の体制で進めておりますが、3月の業務完了に向けて作業が増えることを見込み、数名を増員し対応する予定です。

第6期以降の予算案については、サーバ、ディスク等の機材更新の必要がある為、これまでの保守費支出と修繕引当金積立の増額を予定しております。更新については短期計画案、長期計画案をそれぞれ検討する必要がありますが、2～3年の短期計画案として、現状維持を目的としたサーバの小規模更新とディスクの保守継続に50万を増額する予定です。また、長期計画案については、今後2～3年の間の資料数増加に併せたサーバの容量と設置箇所の検討を行い、クラウドサービスも一つの選択肢として今後の動向も確認しながら、第8期からの方針案、予算案を作成し、委員会でご承認頂きたいと考えております。

第5期(2010-2011年度) 修正収支予算書
 2010年10月1日から 2011年9月30日まで

(単位:円)

科目	当初予算額	修正予算額	増減	
I. 事業活動収支の部				
事業活動収入				
1. 会費・入会金収入	12,490,000	12,490,000	0	
企業会員	7,860,000	7,860,000	0	
団体会員	4,600,000	4,600,000	0	
学術・教育機関会員	30,000	30,000	0	
個人会員	0	0	0	
2. 事業収入	7,050,000	8,550,000	1,500,000	
記録作成業務受託収入	7,000,000	8,500,000	1,500,000	(注1)
コンテンツ有償利用料	50,000	50,000	0	
3. その他収入	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	19,540,000	21,040,000	1,500,000	
事業活動支出				
1. 事業費支出	18,300,000	19,800,000	1,500,000	
WEBサイト改修委託支出	1,500,000	1,500,000	0	
イベント事業支出	1,000,000	1,000,000	0	
コンテンツ整備事業支出	7,000,000	7,000,000	0	
記録作成事業	7,000,000	8,500,000	1,500,000	(注2)
保守費支出	1,800,000	1,800,000	0	
2. 管理費支出	5,810,000	5,810,000	0	
事務所経費	600,000	600,000	0	
人件費	4,100,000	4,100,000	0	
旅費交通費支出	350,000	350,000	0	
機材費支出	150,000	150,000	0	
通信運搬費支出	100,000	100,000	0	
渉外費支出	100,000	100,000	0	
会議費(含総会)支出	100,000	100,000	0	
租税公課支出	50,000	50,000	0	
会計士外部委託費支出	160,000	160,000	0	
雑費支出	100,000	100,000	0	
事業活動支出計	24,110,000	25,610,000	1,500,000	
事業活動収支差額	▲ 4,570,000	▲ 4,570,000	0	
II. 投資活動収支の部				
投資活動収入				
修繕引当預金取崩収入	1,800,000	1,800,000	0	
投資活動収入計	1,800,000	1,800,000	0	
投資活動支出				
修繕引当預金取得支出	1,800,000	1,800,000	0	
投資活動支出計	1,800,000	1,800,000	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III. 財務活動収支の部				
財務活動収支差額				
	0	0	0	
IV. 予備費支出				
予備費支出	533,585	533,585	0	
当期収支差額	▲ 5,103,585	▲ 5,103,585	0	
前期繰越収支差額	5,103,585	5,103,585	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

注)この予算書は消費税込みで計算しております

第5期（2010-2011年度）事業計画 業務方針

基本方針

- 「UIA2011 TOKYO」開催の9月迄に、計1万点以上の資料を保有するデジタルアーカイブとなる。
- 新システム、新デザインに対応した英語サイトをオープンし、海外の閲覧者数の拡大を図る。
- 「管理のし易さ」を目的としたWeb管理機能拡張を集中して行う。

事業計画 業務方針

- 収蔵事業（コンテンツ整備事業）
 - 表彰事業
 - ◇ 2000点の資料収蔵の達成と第4期までの収蔵作品のデータ修正や追加収蔵を行う。
 - 街並み資料
 - ◇ Web掲載方法の検討。
 - ◇ オープンアライアンスパートナーが保有している資料のデジタル収蔵を継続して進める。
 - その他コンテンツ制作
 - ◇ UIA開催時の広報用コンテンツ制作を行う。
 - ◇ 第4期WGで検討したビデオ企画の実現、動画収録。
 - ◇ 収蔵済資料の関連コンテンツ制作
- 広報事業
 - UIA本大会会場での広報活動、展示企画の立案と実施
 - デジタル卒業設計大賞の実施
- コンソーシアム運営
 - Webサイトの保守・運営・管理、サーバ、ディスク更新についての検討
 - ◇ 短期計画(第6期～第8期)機器更新費用の確保（現状維持、最小限の更新のみを目的とする。）
 - ◇ 長期計画(第8期～)サーバの設置場所を含めた管理方法、費用検討を行い、方針を示す。
 - 一般社団法人格取得準備
 - 基本システムの運用
 - ◇ 「管理のしやすさ」を目標としたシステム改修、管理機能の拡張を行う。
 - 来期予算、事務局体制の検討
 - ◇ 会員の会費等規約についての見直し案を検討する。
 - ◇ 会費収入の減額による事務局体制案を検討する。

<資料3>

2011年1月28日

DAAS 事務局

表彰作品資料収蔵事業 作業進捗について

<収蔵作品数並びに収蔵枚数（概算）> (2011年1月24日現在)

- 2010年～2011年3月迄の表彰作品収蔵対象件数 約1200作品
- 設計事務所への収蔵依頼数 約800作品
- 受領済、受領見込数合計（220作品+110作品） 約330作品
(資料数約1650枚)
- 未回答 320作品
※その他作品については連絡先が不明、収蔵不可の回答などにより収蔵が困難としています。

<収蔵数達成の為の検討案>

- 設計事務所への進捗状況確認と再依頼、受領期限の延長の連絡を書面にて行う。
(1月中旬完了)
- JIA環境建築賞受賞10作品の資料を、JIA-KITアーカイブスが新規で保存することとなったため、デジタルデータをDAASで収蔵、公開することを検討。資料点数は60枚を予定。(交渉中)
- JIA-KITアーカイブスで所有する図面資料の表彰該当作品、または、街並み資料のデジタル化収蔵を検討。(相田武文氏、川崎清氏受賞作品の図面。神代ゼミの街並み資料、高橋志保彦氏表彰受賞の都市計画資料、等) (1月下旬より進行中)
- 新建築社、エスエス社、日本建築写真家協会に表彰作品の該当資料の有無を確認し、各社から直接資料提供をうけるための交渉を開始。(1月下旬より進行中)
- その他、大高正人氏資料(未整理につき今期収蔵は困難の可能性有)片山和俊氏の表彰受賞作品の図面資料、街並み資料(既にデジタル化された資※)の収蔵を検討。
(1月上旬より進行中) ※jpg、tif形式以外の収蔵については管理方法の検討が必要。

<今後の作業スケジュール>

- 写真資料返却 2011年1月開始～2011年4月完了予定
- デジタルデータの最終納品 2010年4月完了予定
- 関係者へのtestページ送付 2010年5月中旬完了予定
- 新規WEBサイトでの公開作業 2010年6月中旬完了予定

<資料 4 >

2011 年 1 月 28 日

DAAS 事務局

デジタル卒業設計大賞募集期間延長並びに選考延期について

第 4 回デジタル卒業設計大賞は 12 月に Web 上での応募を開始致しました。

応募締切日の 1 月 11 日時点で、応募者がなかったため中止も検討致しておりましたが、締切日以降 21 日までの間で申し込みと、問合せがあった為、募集期間を延長することといたしました。

今後、作品の確認と予審による入賞候補者の選定を 1 月末日に行い、審査委員長古谷誠章氏と受賞者による懇親会は 3 月以降で日程調整を進めております。

第 5 期（2010-2011 年度）事業計画

1. 基本方針

第 5 期末の 9 月に東京で開催される「UIA2011 TOKYO」にむけて、国内で公に評価された建築・街並み・景観に関する資料の収蔵目標数を設定し、資料拡充に努める。

また、アーカイブ活動の普及、周知のためのコンテンツ制作と広報活動を行い、広く国内外に活動の目的を示し、企業、団体、個人に対して、アーカイブ活動への協力と支援を呼びかける。

また、閲覧者数の増加を図るため、Web のデザイン変更、機能拡張を継続して行い、英語化作業については新規デザインに対応した英文サイトの制作を完了する。

2. 事業計画

(1) コンテンツの整備

第 3 期から継続している表彰事業受賞建築作品の収蔵を進める。また、先期から始動しているオープンアライアンス活動の実績を各アーカイブに示し、アライアンスパートナー活動の呼びかけを行うとともに、デジタル化保存が必要な場合は、積極的にデジタル収蔵の提案をし、DAAS の周知に努め、活動の範囲を広げる。

① 写真家及び出版社への資料収蔵協力

エスエス東京、新建築社、日本建築写真家協会など、企業、団体での包括的な資料収蔵の協力を得られたため、先期からの表彰事業受賞作品資料の収蔵を依頼するとともに、表彰作品に限らず、価値ある建築資料についてはデジタル化及び収蔵についての提案を行う。出版社への協力依頼も継続して行う。

② 動画収録

第 4 期に計画した写真家、評論家の収録を実施する。第 5 期も継続してビデオ作成ワーキンググループを設置し、新規の企画・立案を進める。また、広報活動の動画制作なども行い Web に掲載する。

③ 収蔵作品の解説等の掲載

これまでに掲載した収蔵作品等の解説記事を、第 4 期に実施した Web サイトのリニューアルにあわせて掲載する。新規企画についても検討する。

④ 第 4 回デジタル卒業設計大賞の実施。

第 5 期においても、デジタル卒業設計大賞を実施する。参加者への告知方法及びスポンサーの確保等について検討する。

⑤ 国土交通省補助事業の活用によるコンテンツ整備

第5期前半の事業として、先期と同様に国土交通省及び関連団体の支援を依頼し、建築関係団体が主催する表彰事業の受賞建築作品のデータ整理と資料収蔵、アライアンスパートナーの保有する資料についてのデジタル化収蔵を行い、資料総数1万点以上のデジタルアーカイブとなることを実現する。 会員団体が主催する表彰事業の受賞建築作品については、昨期までに収蔵した300作品以外の1,200作品について、設計者、設計事務所、写真家、施主等に対して、諸元データの提供、公開の許諾、現物資料（プリント写真、設計原図、ポジ・ネガなどのフィルム等）の提供依頼を行う。提供された現物資料のデジタル化を行い、経年変化の著しいものについては補正を行った上で、権利者とDAASで成果データを共有し、低解像度画像については、DAAS-Webサイト上で公開を前提とした権利関係の処理を進める。

⑥ 住宅団地・まちなみ等に関するコンテンツ整備

これまでに作成したリストに沿って、住宅団地・まちなみ等のデータ収蔵と公開についての方針を検討するとともに、今後収蔵すべき資料のリスト化を進める。

⑦ オープンアライアンス活動（デジタル化収蔵と資料公開）

JIA・KIT 建築アーカイブスで現物保存している資料について、DAASでのデジタル化、及び資料公開を行っているが、この実績を他のアーカイブや資料保有者に示し、活動の協力、連携を広く呼びかける。JIA・KIT 建築アーカイブスで保有する使用のうちデジタル化を優先する資料の検討を行い、スケッチ、図面、写真等のデジタル化保全を進め、関係者との権利調整を行いながらDAAS-Webにて公開を行う。

(2) Webサイトの改善

Webサイト全体の改修を継続して実施する。本期は新規デザインに対応するWebサイトの英語化を進め、また、地図検索機能についての詳細画面を実装する。

(3) 基本システムの運営・管理

資料情報の揺れや調整を継続して行い、より正確な情報提供を行えるよう閲覧者からの情報提供も呼びかける機能を実装する。また、DAASが運営するWebサイト (<https://www.daas.jp/>) およびデータ収蔵サーバや機器の管理と運用を引き続き慶應義塾大学に依頼するとともに、収蔵データの増加に対応できるよう、基本システムの運営方法を見直し、データ収蔵サーバの更新についても検討を進める。

(4) DAASの広報・実空間展示等の企画立案

各団体の全国大会での展示、デモンストレーションを行う。また第5期後半では、UIA2011 TOKYO 本大会会場での収蔵資料を活用した活動紹介コンテンツのデモンストレーション、ブース展示等の企画・検討を行う。

(5) 法人化の準備

引き続き一般社団を目指し必要な内部規定の整備等、事務局体制の整備を進める。

(6) 会員向けサービスの強化

DAAS-Web 上に、資料提供者用ページ（ポートフォリオ機能）等、資料提供者が積極的に関われる機能追加を検討する。

(7) その他

その他、DAASの目的に資する活動を実施する。

■ 本期達成目標

- 10,000点のアーカイヴスを目指す（UIA 2011TOKYOに向けて）
- 英語化：作品名、設計者、所在地、面積等（数字のみの表記の為）
 - ✧ キャプション、VIDEO、ニュースについては対応未定
- Webの改善：会員向けサービスの実現、管理機能の充実
- UIAでの展示企画
- 作期から延期されているビデオ撮影

□ 第5期事業計画案以外の課題

- サーバの設置、機器の入れ替え等、概算費用の算出、費用工面の問題
- 事務局の体制
- 来期からの予算の検討と体制についての検討（会費収入の減額による事務局体制の再検討）
- 法人化についての検討

DAAS デジタル卒業設計大賞 2010

募集要項

2010年11月12日(金)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)

デジタル卒業設計大賞 2010 実行委員会

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)¹は、これからの建築界で活躍が期待される若い学生・建築家・デザイナーの卒業制作作品を対象とした「デジタル卒業設計大賞 2010」を開催いたします。

本大賞は、デジタル化した建築資料の積極的な公開と活用によって建築文化の浸透と発展を目指す DAAS の活動の一環として開催されます。「自由な発想とデジタル技術を駆使して、自身の卒業設計を表現すること」を目的とし、建築作品としてだけではなくインターネットを通じたデジタルツールによる作品表現という点も合わせて評価を行う特徴的な表彰イベントです。

第4回目となる「DAAS デジタル卒業設計大賞 2010」は、選考委員として DAAS 理事であり建築家の古谷誠章先生をお招きしています。

デジタルツールの特性を生かした、意欲と創造性にあふれる魅力的な作品をお待ちしています。奮ってご応募ください。

募集作品

作品は以下の要件を満たしているものを対象とします

- 2010年3月末までに大学・大学院・建築系教育機関を卒業、あるいは修了する際に制作された卒業・修了制作作品であること
- インターネット上に公開され Web ブラウザで閲覧可能な Web サイトであること
- 1人または1グループ1点とする（グループの場合、メンバーもしくは代表者が同じであれば1点のみとし、応募後の名前の変更は認められない）

¹ 我が国の優れた建築物に関する図面や写真などの資料や建築家自身による解説などをデジタル化して収録し、インターネットを通じて積極的に公開することで、未来へ継承することを目的として設立されたコンソーシアム。

参加資格

参加者は以下の要件を満たしていることとします

- 2010年3月末までに大学・大学院・建築系教育機関を卒業、あるいは修了していること（応募時点での学生、一般の別は問わない）
- 個人・グループの別は問わないが（グループの場合は代表者を明記すること）応募者（グループの場合は代表者）は DAAS メンバーであること（DAAS メンバーへの登録（無料）は随時可能）

応募方法

本大賞に関わる応募・審査・通知は全て WWW (World Wide Web) 上で行います。応募は DAAS Web サイト(<https://www.daas.jp/>)のトップページに掲載される「DAAS デジタル卒業設計大賞 応募フォーム」より必要事項を登録します。

応募受付期間は、**2010年11月12日(水)**から**2011年1月11日(火)**までとします。

応募者は作品をインターネット上で閲覧可能にし、作品のタイトルなどの情報と共にその URL (アドレス) を応募フォームにご記入下さい。なお、登録後、全ての作品は DAAS Web サイト上に制作者名・作品名・トップページのサムネイル画像などから登録した URL へのリンクを行い一覧・公開されます。

審査は一般的な Web ブラウザを用いて一律に行われます (Microsoft 社 Internet Explorer および Mozilla プロジェクト Firefox など) ので、別途プラグインなどが必要な場合は、閲覧時にダウンロードを促す記述等、必要な対策を講じてください。なお、表示するパソコン画面の解像度は XGA(1024x768)以上を前提としてください。

Web サイトとして公開可能なスペースをご自身で準備できない場合は、DAAS 事務局にご相談ください。

審査方法および結果通知

審査は二段階に分けて行われます。応募者作品の中から数点を入選作品として選抜し、結果を応募者に電子メールにて告知すると共に DAAS Web サイト上で公開します。その後、選考委員を交えた入選者の懇親会²を開催し、その場で講評と表彰が行われます。

²入選者には懇親会参加費用として日本国内の往復交通費（実費）が支給されます

表彰は、本大賞の趣旨に従い「卒業設計で制作した建築に関する評価」「Web サイト上で利用可能なデジタル化による様々な表現手法に関する評価」の二つの観点より美術的表現力、創造力を審査して行われます。建築物として優れた作品には「優秀建築作品賞」を、Web サイト上の表現に優れた作品には「優秀 Web 表現賞」を、総合的に最も優れた作品には選考委員より「デジタル卒業設計大賞 六角賞」が授与されます。

入選した作品は DAAS Web サイトへ収蔵され公開されます。また、懇親会の模様はビデオ映像として公開する予定です。

なお、2007 年度の受賞作品と講評コメントについては、DAAS Web サイトにて公開しています。ぜひ参考にしてください。

DAAS: イベント報告 デジタル卒業設計大賞 2007

受賞作品一覧

<https://www.daas.jp/prize/result2007.php>

懇親会の様子

<https://www.daas.jp/prize/2007/party2007.php>

選考委員

古谷誠章（建築家・早稲田大学教授・DAAS 理事）

DAAS 運営委員

アドバイザー

槇 文彦（建築家・DAAS 顧問）

鈴木博之（建築史家・青山学院大学教授・DAAS 理事長）

応募作品の発表と著作権について

審査および審査結果の発表などのために、応募作品を DAAS Web サイトに掲載、公開する権利、あるいは複製、印刷、展示、出版する権利については DAAS コンソーシアムが保有し、応募者は無償でこれを承諾するものとします。作品の著作権は応募者に帰属します。結果発表後、DAAS Web サイトにて応募作品（一部あるいは全部）をアーカイブとして収蔵・保管し、公開することも予定しています。これらに際しては、応募者の氏名・所属を公開させていただきます。

注意事項

1. 応募作品に収録されているいかなる内容も、他人の権利を侵害するようなものであってはいけません(著作権、商標権、肖像権などの諸権利等)。審査発表後にこれらの侵害やその疑義が発覚した場合の全責任は、応募者が負うこととします。これらの侵害の恐れがある場合は、主催者の判断によって応募を拒否したり入選を取り消したりする場合があります。
2. 応募作品はインターネット上で公開されますのでご留意の上ご応募ください。また DAAS Web サイトへ収録する際に変更をお願いする場合があります。
3. 応募に関する質問は DAAS 事務局までお問い合わせ下さい。お問い合わせのあった内容につきましては DAAS Web サイトで回答も併せて掲示する場合があります。
4. ご自身の Web サイトへのアップロード方法などについて事務局からご案内することはできません。
5. 記述が不十分などの理由により、応募者の意図したとおりに表現できない場合は審査時に減点の対象、または審査対象外となるおそれがあります。
6. 自分の意図したように作品が閲覧できるかどうか、様々な環境で確認して作品を構築することを、強く推奨します。なお事務局でどのように閲覧できているかのお問い合わせには一切お答えできません。
7. DAAS Web サイトで公開された作品の内容、作品に起因するトラブル等に関しまして、DAAS および事務局は一切責任を負いません。

個人情報の取り扱いについて

応募者からメンバー登録以外に取得した個人情報については、DAAS 事務局からの事務連絡に使わせていただきます。また、本大賞の審査から結果発表の過程で、ご登録いただいた氏名・所属先や年齢などを選考委員に開示させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。